

# 年男・年女の

## 皆さんから



### 夢の実現

石山翔也さん（花渕区）  
平成9年生まれ

ぼくの夢は水泳選手になつて、大きな大会で上位に入ることです。

ぼくは小さいころから水泳が好きで、小学1年生からスイミングスクールに通い練習を続けています。

3年生になって水泳部に入り、50メートル泳げるようになり、本荘由利水泳大会で7人中4位という成績でした。この成績は悔しかったので、この悔しさを胸に練習し、去年は8人中3位という成績でうれしかったです。

水泳部はことしで最後なので、悔いのない泳ぎをして1位をとれるようにがんばりたいです。

ことしの春は6年生になります。これから活動していく中で、下級生の面倒をみて全校の大黒柱になれるよう仲間たちと協力しあってがんばっていきたいと思います。

平成21年は丑年。  
うしはさむがしこいねずみに先を越されて、干支では2番目になりましたが、物事にねばり強く取り組み、ゆっくりでも着実に前に進みます。  
そんな丑年の市民の皆さんから、ことしの抱負を語っていた  
だきました。  
ことしはどうな一年になるで  
しょうか。



### 心身の強化

荒川 優さん（木の浦区）  
昭和48年生まれ

新年あけましておめでとうございます。

20代のころはスポーツをしながら体をよく動かしていましたが、ここ数年、スポーツをすることがほとんどなくなり、休日もあまり外出しなくなり、体がだいぶ鈍ってしまいました。

そんな自分を奮起させるために、ことしこそはスポーツ等で積極的に体を動かし、体力をつけて20代のころのような若さを取り戻せるよう、がんばっていきたいと思います。また、毎年目標としていることなのですが、自分とともに歩んでくださるお嫁さんも探したいと思います。

お嫁さん探しは、とても難しいことですが、スポーツや交流活動を通して、心と体を鍛え、ことしこそは、その目標を達成するためにがんばっていきたいと思います。



### 恩返し

池田菜美子さん（中ノ沢）  
昭和60年生まれ

明けましておめでとうございます。

21歳で娘の空を産んで、あつという間に2年が経ち、ことしで3年目になります。育児はとても大変ですが、娘の成長、笑顔を見ているとなんでも頑張ろう！！と思います。

娘は、生まれてから入退院の繰り返しでした。ことし、ようやく手術を受けることができるようになりました。1月の初めに愛知県へ向かいます。

私が今までやってこれたのも、家族や友だちのおかげでした。空の手術が成功したら、今度は私と空で恩返しをしていきたいと思っています。

ことしがハッピーな年になったらしいなあ♡



### 家族全員の健康が一番!!

佐々木久子さん（田原）  
昭和36年生まれ

明けましておめでとうございます。

私の趣味は、写真です。以前は、土日の休みを利用して青森県の下北半島や福島県の猪苗代町、宮城県の白石市などに、いつでも思いついたら吉日と写真を撮りに出掛けていました。

ところが、一昨年、昨年と父と母が大病を患い、家に居る時間が増え、以前のように気軽に撮影に行くということは無くなりました。今ほど健康であることのありがたさを感じたことはありません。何よりも両親ともども、家族全員が健康であることが一番の願いであり、目標でもあります。

健康だからこそ写真撮影にも気軽に行けるのですね。

どうぞ、にかほ市の皆さんもことし一年健康でありますように！



### 第二の人生!!

戸蒔 誠さん（百目木）  
昭和24年生まれ

新年あけましておめでとうございます。

「年男」とは、日本の古くからの風習では、正月に限って一家の行事をすべて取り仕切る主務の役目をする男のことと指すそうですが、現在では生まれ年が干支にあたる男を指します。

私もことしは年男であり、60歳となり、会社を退職するという人生の節目の年です。長年働いた会社を退いて第二の人生を迎える年です。

子供も3人いますが、一番下の娘が今春大学を卒業しますので、子供たちへの仕送りももう終わりです。

幸い私には、会社を辞めて仕事があります。日ごろ、片手間でやってきた農業を今後はじっくりと、残った時間を趣味にと今から楽しみにしています。



### 出会いを大事に

五十嵐静也さん（駅前）  
昭和12年生まれ

新年おめでとうございます。私は6度目の丑年を迎えました。顧みれば、父の遺骨とリュック一つで、母と二人命からがら旧満州から引き揚げて来て以来、多くの人々と出会い、お世話になり今日まで生かされてきました。

教師の道に目を開かせてくださった中学・高校時代の恩師。「学校社会」という枠の中、38年間の教職生活で出会った先輩・後輩、保護者、生徒。誰もが微力な私を支え励まし鍛えてくださった人生の師でした。

退職後は学校という枠が外され、今まで以上に年齢、性別、職業、国籍を問わず多くの人々と交流の環が広がり、忙しいながらも新鮮で楽しい充実した毎日を過ごして来ました。

一年一年年齢を重ねると過去が増えて未来が少くなりますが、ことしもまた多くの人々との出会いを大事にし、貴重な未来の一部であるこの一年を実りのある年にしたいと思います。

